

お子様が安心してスマートフォンを利用するために

保護者の方は、お子様が自身のスマートフォン等、インターネット接続機器を利用される際、次の点にご注意ください。

(1) 適切にインターネットを利用する

子どもたちが SNS で誘い出され、事件に巻き込まれる深刻な事案が発生しています。インターネットに関する知識や情報モラルを身につけ、正しく利用しましょう。

(2) 家庭のルールを作る

長時間利用によるネットの依存症も増加しています。適切な生活習慣が身につけられるように、お子様と一緒に話し合い、「利用時間は夜9時まで」など、具体的にルールを決めましょう。

(3) フィルタリングなどを設定する

「フィルタリング」は、違法・有害サイトにアクセスできないように制限する機能です。併せて課金制限や時間管理を設定できる「ペアレンタルコントロール機能」も利用し、お子さんをトラブルから守りましょう。

総務省からのお知らせ

実際に起きたトラブル事例をもとに、予防・対策法をまとめた「インターネットトラブル事例集」や、相談窓口のご案内を総務省ホームページに掲載していますのでご活用ください。

■インターネットトラブル事例集

https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/trouble/



■インターネット上の書き込みなどに関する相談・通報窓口

https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/trouble/reference/reference01.html



本件に関するお問い合わせ先

総務省 北海道総合通信局 情報通信部 電気通信事業課 電話：011-709-2311 (内線：4704)

◎脅迫めいた投稿は悪意がなくてもダメ！

出展：総務省インターネットトラブル事例集



考えてみたいポイント

- 1 通報により警察が動きます
2 騒ぎが大きくなるとどうなる？
3 こんな投稿を見つけたら...



子どもがきらりと輝くまちに

子どもの権利 ニュース The Rights of the Child

第33号

令和8年3月発行

- 子どもにとって大切な権利
・安心して生きる
・自分らしく生きる
・豊かに育つ
・参加する



令和7年度子ども議会活動報告

子ども議会は、子ども議員となった子どもたちが主体的に札幌市のまちづくりについて話し合い、発表する活動を通して、市政への子どもの参加及び意見表明の機会として、平成13年度から毎年実施している取組です。令和7年度は、小中学生の子ども議員25人が参加。...

大学生のユースファシリテーター10人のサポートを受けながら意見をまとめ、まとめた意見は、市長に直接報告しました。

子ども議員が考えました！



子ども議会 各グループ意見概要

ネットトラブル対策

小中高校でネットトラブルに関する授業の拡充（実施校の増加）および札幌市主催のシミュレーション体験イベントの開催。

通学路の安心・安全

試験的に片側2車線道路の一部を自転車専用レーンとするなど、自転車の走行環境を整備し、あわせて矢羽根（路面表示）の意味の周知を行う。

地下鉄のルール・マナーを広めよう

「女性と子どもの安心車両」のルールを直感的に理解できるようポスターのレイアウト（文字サイズ等）を改善し、チ・カ・ホなどを活用して周知を強化する。

環境

さっぽろ雪まつりなどのイベント会場で、「レジ袋」と「パンフレット」の配布によるごみ持ち帰りマナーの啓発。

増やそう！ユニバーサル遊具

車椅子からでも乗りやすい回転遊具や幅の広い滑り台などを備えた「ユニバーサルデザイン遊具」のある公園を各区に2～3か所程度増設する。

◎ユースファシリテーターの役割

各グループに配属され、子ども議員から多様な意見を引き出し、合意形成に導く役割を担います。また、議会活動の前には、専門のファシリテーターが講師となり、2日間の研修でファシリテーターとしての心構えとスキルを学びます。...



▲ファシリテーター、ユースファシリテーターとの話し合いの様子

子ども議会の詳細はこちらのホームページで紹介しています。

https://www.city.sapporo.jp/kodomo-mirai/kids/ikusei_gikai01.html



発行 令和8年(2026年)3月

札幌市子ども未来局子ども育成部子どもの権利推進課 SAPPORO

〒060-0051 札幌市中央区南1条東1丁目大通バスセンタービル1号館5階

TEL: 011-211-2942 FAX: 011-211-2971

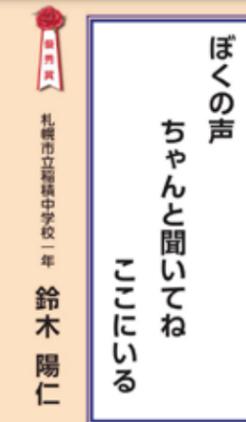
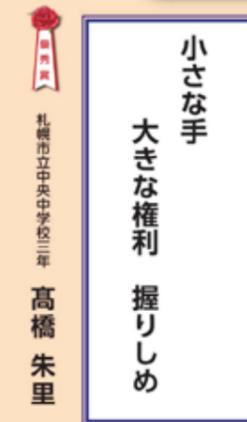
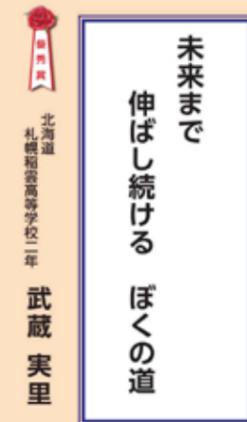
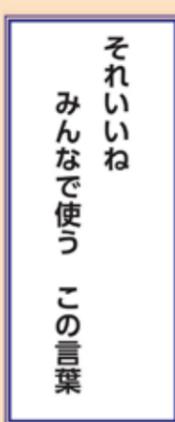
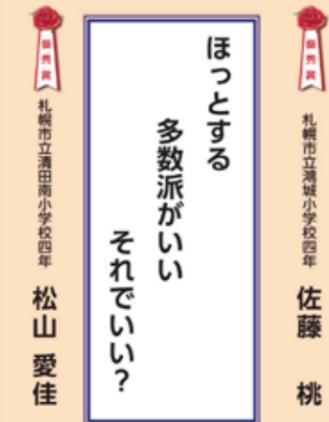
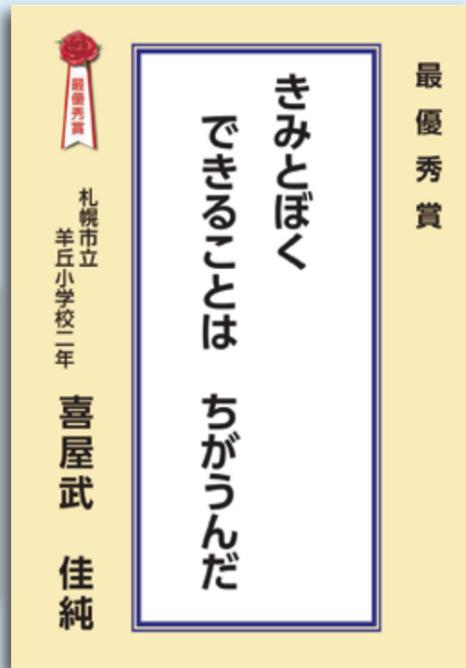
Eメール: kodomo.kenri@city.sapporo.jp

札幌市公式HP「子どもの権利のページ」 https://www.city.sapporo.jp/kodomo/kenri/index.html



さっぽろ市 02-G01-25-2686 R7-2-1758

子どもの権利条例では、毎年11月20日を「さっぽろ子どもの権利の日」とし、子どもが参加する事業の実施や子どもの権利の普及啓発に取り組んでいます。その取組の一環として、毎年、市内の子どもたちから「子どもの権利」をテーマとしたせんりゅうとポスター作品を募集しています。今年度も、小学生から高校生まで、たくさんの応募をいただき、入選作品を決定しました。ここでは、最優秀賞と優秀賞をご紹介します。奨励作品は札幌市公式ホームページで紹介していますので、ぜひご覧ください。



子どもからの提案・意見募集ハガキは、子どもたちから市政やまちづくりについて提案や意見を広く返信ハガキにより募集する取組です。

市内の小学4年生～高校生を対象に、「雪と共生するまちづくり」「子ども減少時代の学校施設のあり方」の2つのテーマに意見を募集したところ、287通の意見が集まりました。

テーマ1 雪と共生するまちづくり

札幌は冬にたくさんの雪が降るまちです。現在は、道路の除雪や地域の人との協力で安全が守られていますが、将来は除雪のお仕事をしてくれる人が少なくなることが心配されています。そこで、冬の暮らしをより楽しく快適に過ごすためのアイデアを募集しました。

届いた意見には「大きな雪だるま作り」など、雪を資源として楽しむアイデアが最も多くありました。また、授業での「雪かきボランティア」など、みんなで協力して雪と上手に暮らすための前向きな工夫がたくさん提案されました。

みんなの意見の一部を紹介!

学校のボランティア活動として地域の雪かき

除雪車の体験を通して将来の担い手を増やす

誰の家とか関係なく、人の通る道を雪かきする

雪かきアルバイトサイトでアルバイト募集!

札幌市の考え方

札幌市は190万人の人が生活する大きな都市でありながら、年間約5メートルという、たくさんの雪が降る世界でも珍しいまちです。そのため、札幌市での冬の暮らしには、雪かきや雪まつりなど、雪国ならではの日常や魅力がたくさんあります。

そんな札幌市で雪と上手に付き合っていくためには、「地域で新しいイベントを開催すること」や、「大雪の日にはオンラインで授業を受ける」などのみなさんからいただいたアイデアはとても重要な視点です。

札幌市では、雪の持つ魅力や価値をもっと活かすための方法を話し合っています。みなさんのアイデアを参考にしながら、雪と上手に暮らしていけるまちづくりを推進します。

(まちづくり政策局未来創生担当課)

テーマ2 子ども減少時代の学校施設のあり方

札幌市には約300の小中学校がありますが、この30年間で子どもの数は大きく減り、クラス替えができないような小規模な学校が増えています。古い校舎を直したり建て替えたりするためには、たくさんのお金が必要になることも大きな課題です。これらの時代に合った学校のあり方について意見を募集しました。

新しい友達との出会いを増やすために学校の統合を積極的に進めてほしいという声がある一方で、母校がなくなる寂しさや通学距離が伸びることへの不安も寄せられました。その対策として「オンライン授業」を活用するアイデアなど具体的な提案が多くありました。

みんなの意見の一部を紹介!

通学距離が長くなりすぎないように注意が必要

学校ではなくなっても高齢者と交流できる施設として建物は残してほしい

子どもが減っていく以上、統合はしかたない

札幌市の考え方

みなさんからは、今通っている学校のことだけでなく、わたしたちのまち「さっぽろ」の未来にしっかりと目を向けて、これからの学校をどうしていけばよいか、まちづくりと学校との関係、さらには大切な予算の使い方まで考えられた、たくさんの意見をいただくことができ、とてもうれしく思っています。

どの意見も、将来の学校施設のあり方を考えていく上で、とても参考になるものばかりでした。

今回みなさんからいただいた思いを大切にしながら、引き続き、新しい友達との出会いが増えるよう、学校の統合などの取組を進め、「子ども減少時代」の札幌市の子ども教育環境を整えていきたいと思えます。

(教育委員会学校施設課)